

中谷宇吉郎書画を大学文書館で受贈

7月23日（火）、大学文書館では、井上一彦様から、中谷宇吉郎博士の墨筆による書画4点をご寄贈いただきました。書画は中谷宇吉郎博士（1900-1962年）の門下生である中山久子氏に贈られたもので、ご令甥の井上様が大切に保管されてきました。

中山久子氏（1914-2011年）は、日本女子大学校を卒業後、1938（昭和13）年理学部物理学科に入学、中谷宇吉郎教授主宰の実験物理学教室で学生生活を送られました。1941年物理学科を卒業後、低温科学研究所の助手

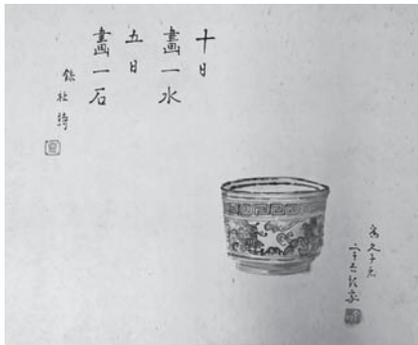
（1944～1949年）を務め、中谷教授のもとで霧の研究にも携わりました。

今回、受贈した資料は、讃に「十日画一水 五日画一石 録杜詩」とある水墨画が1点（扁額）、菊の華が描かれた御礼状が1点（木製額仕立て）、コスモスの花が描かれた御礼状（1941年）、石鯛を描いた水墨画が1点です。いずれも墨の濃淡が美しい書画です。

コスモス・石鯛の描かれた水墨画は、今秋、「北大フロンティア基金」により、額装幀を施す予定です。

また、8月4日（日）から、大学文書館1階の沿革展示室において、企画展示「北大における女性自学から男女共学へ——新制大学70年」を開催しています。同展示中、「女子学生の誕生！～理学部・農学部・大学院～」のコーナーで、早速、今回ご寄贈いただいた菊の華の水墨画を陳列しました。平日（9：30～16：30）の開館時間内で、ご覧いただけます。

（大学文書館）



十日画一水 五日画一石



菊の華



コスモスの花



石鯛